

SSKP

千葉DARC NEWSLETTER KEEP ON GROWING!

平成19年1月号 編集:千葉ダルク事務局
千葉ダルク:千葉県千葉市中央区白旗3-16-7 電話043-209-5564

新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になり本当にありがとうございました。本年も皆様の変わらぬご支援、ご交誼の程宜しくお願いいたします。

さて、速いもので千葉ダルクも松戸市より千葉市に施設を全面移転してから8ヶ月が過ぎました。入寮者の約三分之一が就労または仕事探しにでている現状の中、実現できるかどうかは分かりませんが、年頭の目標としてスリークォーターハウスの開設実現を考えています。(できれば昨年、ニューヨークの研修で見てきたTC・セラピック・コミュニティの方法論を取り入れて...)

また、移転時よりプログラムに取り入れたエイサー(沖縄太鼓)も皆様からの献金により新たに三基購入することができました。できれば揃いの衣装も用意したいと思いますので、ひきつづき皆様よりの寄付、心よりお待ちしております。

最後にお知らせですが、来る6月16日(土)千葉県文化会館小ホールにて袖ヶ浦にある日本ダルク・トゥデイハウスと合同でフォーラムを開催することになりました。詳細は決まり次第、おってニュースレター等でお知らせします。多くの方の参加を心よりお待ちしております。

千葉ダルク

責任者 白川 雄一郎



新しく購入した三基の太鼓です

大切にさせていただきます。

過去の自分

圭

初めまして僕はアディクトの、圭といいます。僕は小さい頃から人と話すのが苦手で、内向的な性格でした。よく一人でTVゲームやっていたりして、家族団樂の食事最中もゲームをやったりしていました。

親戚のおばさんに「おまえ、病気だよ」と言われたのを覚えています。いま考えればアディクションはもうその頃からあったような気がします。

中学生と高校生の頃はよくイジメにあい、益々人と会ったり話したりするのが嫌で、学校から帰るとゲームばかりしていました。学校に行くのが嫌で仕方なかったのですがなんとか卒業はしました。

その後一浪して三流大学に入学したのですが、人と話したり、コミュニケーションをとったりできる状態ではありませんでした。結局一年程で大学を辞めて、その後は道路工事の警備員をやっていたのですが、そこでもイジメに合っただけで会社に行くのが嫌になって一年程で辞めてしまいました。もう人とあうのが嫌で、それから一年ぐらい仕事もしないで家に閉じこもってゲームとエロビデオを見る生活をしていました。自分でも、これではいけないと思いつつも楽な方へ流れてどうしようもありませんでした。この事自体、十分病気だと思います。

「引きこもりは、僕の病気の一つです。」親にも言われて再び仕事に着きました。塗装工事、リフォームの営業の仕事でした。最初の半年は引籠もりを直したい一心で一生懸命頑張ってそれなりの収入も出来てきたのですが、その職場で覚せい剤をやっている人がいました。「気持ちよくなるから」と勧めて初めてクスリを使いました。

でも、クスリを使うと体は疲れっているのに頭は覚醒して結局、仕事も続けられなくなり今度は、シャブ中になって家に引籠もるようになりました。そのあと、クスリを引く仲間も金も無くなって、家でダラダラして28歳の時に親に家を追い出されました。そして運送業に就いたのですが、そこでクスリを使っている人がいて、再び薬物を使うようになりました。

夜は寝ることができず、疲れた体で仕事をしているうちに、大きな事故を起こしてしまい、仕事を辞めざるをえませんでした。実家に戻ったのですが覚せい剤は止まりませんでした。実家で親に警察に突き出されたのですが、判決を受けた後もクスリを止める気がありませんでした。ついに実家にもいられなくなり今回、千葉ダルクにつながりました。ダルクに来た当初は、嫌で仕方ありませんでした。ダルクを飛び出して親の元に行ったのですが「もう少し頑張ってこい」という親の言葉に従って今は、ダルクで頑張っています。

過去の自分と今の自分

タケ



自分と悪魔の水との出会いは、16歳の時でした。吸い始めた切っ掛けは、当時働いていた民宿のアルバイト仲間の「一緒に吸ってみないか？」の一言からでした。興味本意からはじめた悪魔の水との関係は、あっという間に深まり繰る日も繰る日も使い続けるようになってしまいました。

3~4人の仲間と音楽をセットし毎日のように幻聴を楽しむ毎日でした。友人関係も以前とは変わり悪魔の水(シンナー)を通しての関係へと変わっていきました。この間、友人、先輩、家族、会社の上司に再三悪魔の水だけは止めるように注意を受けていました。

時には殴られたり、袋の奪い合いなんて時もありました。こっちは狂った状態ですから、地獄絵巻の修羅場。本当に色々な人達に迷惑をかけてきました。

その後、少年院、精神病院の入退院を繰り返し刑務所にも3回入りました。この間に結婚もし、3回目の刑務所生活の心の支えになってくれた前妻との約束を果たすことなく今回、措置入院となり3ヶ月の入院生活を送りました。

入院中自分の人生をよく振り返り神奈川にある依存症の専門病院に転院しました。この病院でのある人との出会いがダルクに繋がる切っ掛けを与えてくれました。

この人は4月から神奈川の病院に転勤してきた担当の看護師さんでした。この担当の看護師さんと話をしてみると転勤前の埼玉の病院に勤務されていた時からダルクに深く関わり、埼玉ダルクの立ち上げを手助けされたとの事でした。ダルクをこよなく愛する担当看護師さんとの話し合いを何度とし、自分は横浜のダルクに入寮しました。新しい人生を送るために選んだダルクの入寮でしたが、自分かというと強い自害心を持ち酒を飲み狂った妄想のなか4度ダルクから逃げてしまいました。良い仲間にも恵まれてスタッフの方から何度もチャンスを貰いましたが、自分を変えることができず横浜ダルクを2ヶ月で退寮することになりました。

今は千葉ダルクに来て2週間が経ちますが、新しいスタッフの方、新しい仲間と一緒に回復の道を歩みたいと思っています。

残りの人生どのくらいか分かりませんが、自害心を捨て生きる為にダルクの生活をしたいと思っています。こんな自分に最後のチャンスを与え千葉ダルクを紹介してくれた横浜ダルクのスタッフの方に感謝し、こんな状態の自分を受け入れてくれた千葉ダルクの方にも感謝して、焦らずゆっくり生きていきたいと思っています。

千葉ダルクの活動報告

10月度～12月度

千葉県立国分高校にて講演
アルコール薬物施設連絡会参加
横須賀刑務所矯正展へ参加
横浜刑務所矯正展へ参加
横浜ダルクフォーラム参加
千葉県立国分高等学校にて講演
香取市新島中学校にて講演
南房総市立富山中学校にて講演
国立下総精神医療センターへメッセージ（第二・四火曜日）
秋元病院へメッセージ（第三土曜日）
前橋刑務所へメッセージ
横須賀刑務所へメッセージ（毎週金曜日）
久里浜少年院へメッセージ（毎月第二金曜日）

1月度以降の活動予定

市川健康福祉センター施設見学来所
国立下総精神医療センターへメッセージ（第二・四火曜日）
秋元病院へメッセージ（第三土曜日）
横須賀刑務所へメッセージ（毎週金曜日）
久里浜少年院へメッセージ（毎月第二金曜日）